

## 設立20周年にあたり、歴代会長からメッセージが届きました！

2000年1月設立のジュネーブ日本倶楽部(JCG)の初代会長を務めさせていただきました館野でございます。この度は設立20周年を迎えられたとのこと、誠にありがとうございます。

1998年に前身のジュネーブ日本商工会(JBAG)の会長を引き受け、在ジュネーブ日本企業を中心とした活動を行っていましたが、残念ながら国際都市ジュネーブにおける幅広い分野の日本人社会全体を網羅した団体もなく、その活動も細っておりました。そこで、99年春より、ミレニアムを機に、旧商工会を母体しつつもこれを発展的に、ジュネーブ及び近郊のフランス語地域に在住している個人の皆様の活動を主体とする会として改組できないかと、20名を超える有志の皆さんに集まっていただき、連日のように、その組織、運営体制、名称、事務局などにつき喧々諤々議論を重ねました。その成果としてこの新しい会が発足したこと、昨日のこのように懐かしく思い出しております。

新組織では、2000年5月に現上皇陛下がジュネーブを訪問された際に、ジュネーブ日本倶楽部としてお迎えし、ジュネーブの皆様の活動などをご紹介することができたこと、さらに2001年春からは、永らく改訂のなかったジェトロ本「ジュネーブに暮らす」の全面的な改訂に着手、多くの会員の皆様の協力を得て、2002年4月に第2版刊行にこぎつけられたことなどが良い思い出となっております。

最後になりましたが、このジュネーブ日本倶楽部を中心に、個人的にも本当に楽しいジュネーブ生活をさせていただきましたこと、改めてジュネーブの皆様へ感謝申し上げます。

今後とも、ジュネーブ日本倶楽部のさらなるご発展をお祈り申し上げます。

**館野文彦(初代会長、2000年1月-2002年1月)**

会長を務めていただいたその他の方々：

◇矢内伸幸氏(元ホンダ・オートモビルズ・スイス、2006年1月-2008年1月)

◇田総悟氏(元ILO、2008年1月-2009年12月)

JCGに改組される前のジュネーブ日本商工会時代から、会長職は常に日本の現地法人トップの役職でしたが、私が初めてスイス法人所属の永住者として2002年から2005年までの4年間、会長を務めました。

JCG組織の改革でJCG事務局の移転、常勤事務局員の雇用、会報の電子配布開始など役員の皆様と毎週のように議論を重ね無事に乗り切ってまいりました。

新体制の過渡期を無事に進められたのも会員の皆様のご協力とご理解の賜物だと思います。

JCG設立20周年、おめでとうございます。

**内富龍也(2002年1月-2006年1月)**

JCG設立20周年おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

私は2010年から2011年、そして2016年から2017年の2期、JCGの会長職を務めさせていただきました。在任中には多くの会員の皆様に背中を押していただき、様々なことを学ばせていただいたことを心より感謝しております。一致団結して取り組んだ東日本大震災の募金活動、地元の風物詩となった日本祭り、アリアナ公園の桜プロジェクト、カールスルーエ市を飾る鯉のぼりプロジェクトなど、JCGだからこそ出来た活動もありました。

日本に帰国された会員の方々もジュネーブOB会を作って親睦を深めていらっしゃることも嬉しいことです。これからも政府機関、国連機関、民間企業、そして地元へ長く住む方達の温かなネットワークが広がり、皆様のジュネーブでの生活が笑顔溢れるものとなることをお祈りしております。

**アベル美穂(2010年1月-2012年4月/2016年4月-2018年4月)**

設立20周年、おめでとうございます。

私は国際機関に勤務していることもあり、会長を務めさせていただいた時期には、国際都市ジュネーブの中の日本人会の意義について折に触れて考えました。日本人会なので、日本人同士が日本語で交流する会であることは基本です。他方、これをあまりに狭く考えると排他的になってしまいます。そういう意味では、会員名簿や理事会名簿を見ても、国際色豊かな会であることは喜ばしいことだと思います。

また、最近「あれだよ、あれ」などという意味不明のことを口走るようになった私よりも日本語がよほど上手な欧州出身の方が理事でおられることを見るのは本当に嬉しい限りです。

今後ともJCGの発展をお祈りします。

**矢野博巳(2012年4月-2016年4月)**